

香川県 新広域道路交通ビジョン



目次



第1章 香川県の将来像

1. 香川県の現状	
(1) 人口の現状	1
(2) 産業活動の現状	2
(3) 交通の現状	3
(4) 物流の現状	6
(5) 観光の現状	9
(6) 災害の現状	10
2. 香川県の将来像	12

第2章 香川県の広域的な交通課題と既存の取組

1. 香川県の交通課題	14
2. 香川県における取組	19

第3章 香川県の広域的な道路交通の基本方針

1. 安全と安心を築く香川	
①広域ネットワークの基本方針	28
②交通・防災拠点の基本計画	29
③ICT 交通マネジメントの基本方針	29
2. 新しい流れをつくる香川	
①広域ネットワークの基本方針	30
③ICT 交通マネジメントの基本方針	31
3. 誰もが輝く香川	
①広域ネットワークの基本方針	32

第1章 香川県の将来像

1 香川県の現状

(1) 人口の現状

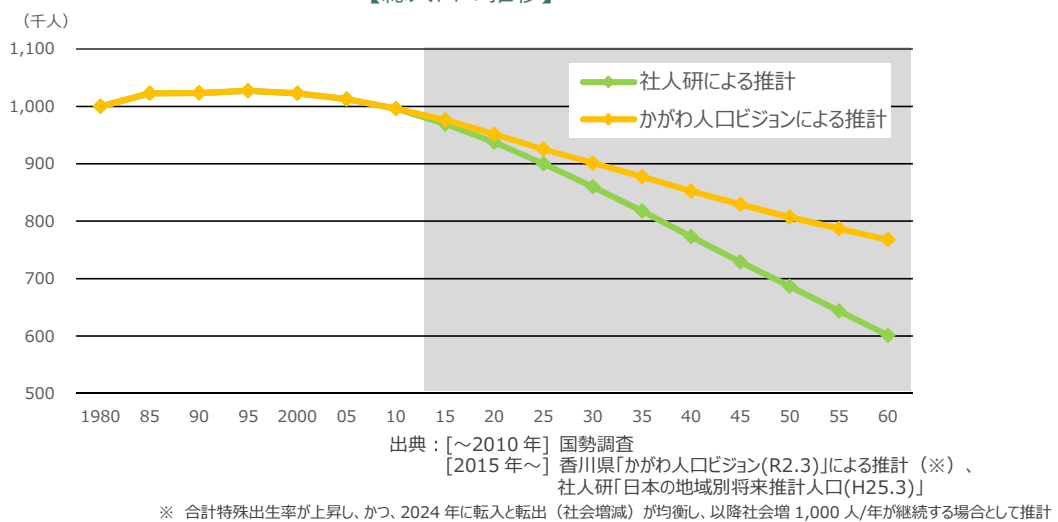
人口減少・高齢化の進行

香川県の人口は、2000年から減少に転じており、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によると、現状のままで何ら対策を講じなければ、今後、人口減少は加速度的に進み、2040年の本県の総人口は77万人程度にまで減少すると見込まれています。

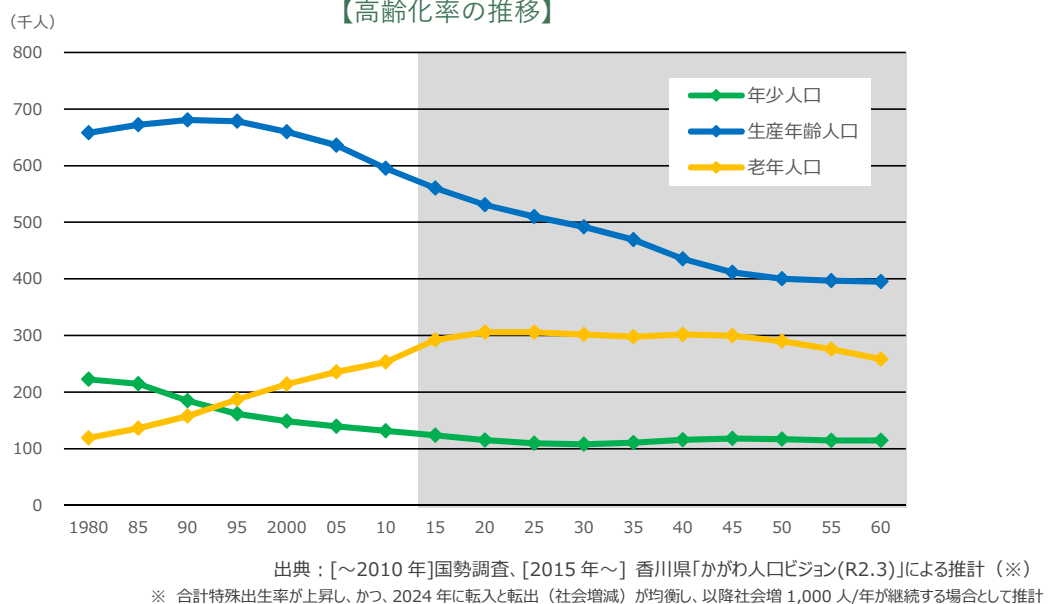
また、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は、今後も減少する一方、老年人口（65歳以上）は、2015年から2050年までの間は、30万人前後で推移すると予測されています。

そこで、香川県では、「かがわ人口ビジョン」を策定し、2060年に人口約77万人を維持するよう、人口の社会増と自然減の抑制に努め、長期的には人口増への転換を目指し、各種施策を実施しています。

【総人口の推移】



【高齢化率の推移】



(2) 産業活動の現状

1人あたり県民所得、製造品出荷額等の伸び

香川県全体で、人口は約5%減少しているものの、1人あたりの県民所得は1.29倍、製造品出荷額等は1.25倍に増加しています。人口減少・少子高齢社会がもたらす社会構造の変化などのマイナスの影響を最小化し、プラスに変えていく必要があります。

【人口、1人あたり県民所得、製造品出荷額等の変化】

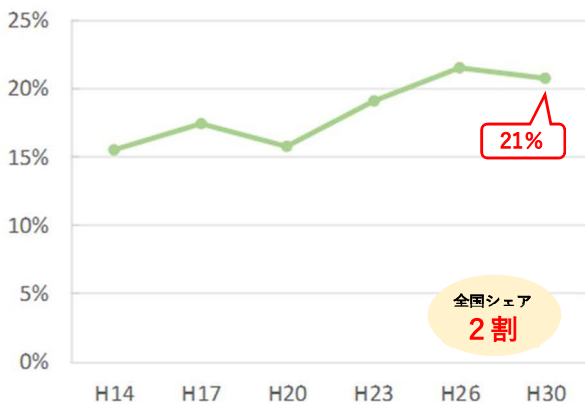
	人口 (千人)		1人あたり県民所得 (万円)		製造品出荷額等 (百億円)	
香川県	1,023 (1985年)	0.95倍 976 (2015年)	235 (1985年)	1.29倍 302 (2019年)	206 (1985年)	1.25倍 258 (2017年)
高松市	401 (1985年)	1.05倍 421 (2015年)	257 (1985年)	1.27倍 326 (2019年)	47 (1985年)	0.75倍 35 (2017年)
丸亀市	100 (1985年)	1.10倍 110 (2015年)	242 (1985年)	1.22倍 296 (2019年)	20 (1985年)	1.26倍 25 (2017年)
坂出市	66 (1985年)	0.80倍 53 (2015年)	236 (1985年)	1.25倍 294 (2019年)	57 (1985年)	0.69倍 40 (2017年)
善通寺市	39 (1985年)	0.85倍 33 (2015年)	226 (1985年)	1.24倍 281 (2019年)	3 (1985年)	1.10倍 4 (2017年)
観音寺市	69 (1985年)	0.86倍 59 (2015年)	215 (1985年)	1.31倍 282 (2019年)	12 (1985年)	1.78倍 21 (2017年)
さぬき市	57 (1985年)	0.88倍 50 (2015年)	214 (1985年)	1.26倍 270 (2019年)	8 (1985年)	2.10倍 18 (2017年)
東かがわ市	42 (1985年)	0.73倍 31 (2015年)	201 (1985年)	1.32倍 266 (2019年)	9 (1985年)	1.32倍 12 (2017年)
三豊市	78 (1985年)	0.84倍 66 (2015年)	203 (1985年)	1.35倍 275 (2019年)	14 (1985年)	1.70倍 24 (2017年)
四国全体	4,227 (1985年)	0.91倍 3,846 (2015年)	227 (1985年)	1.30倍 295 (2019年)	691 (1985年)	1.32倍 912 (2017年)
全国	121,049 (1985年)	1.05倍 127,095 (2015年)	261 (1985年)	1.32倍 343 (2019年)	26,532 (1985年)	1.20倍 31,904 (2017年)

出典：
 [人口]
 国勢調査
 [1人あたり県民所得]
 総務省「市町村税課税状況等の調」（課税対象所得／納税義務者数で算出）
 [製造品出荷額等]
 経済産業省「工業統計調査」、
 ※1人あたり所得の合計欄は、四国の平均値。四捨五入を行っているため合計が一致しない場合がある。

道路整備による香川県産品のシェア拡大

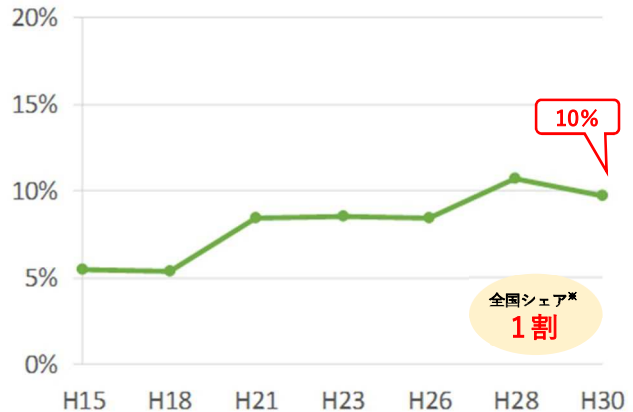
瀬戸大橋の開通や高速道路の延伸に伴う販路拡大により、農林水産物や製造品などにおいて、京阪神地域を中心とした市場へのシェアを拡大しています。県の産業振興の指針である「香川県産業成長戦略」では「交通の利便性は、経済成長の重要な要素であることから、国内外に及ぶ県内企業の事業展開をバックアップするため、広域交通ネットワークの一層の強化が重要である。」と記載されています。

【香川県 鉄製金網の全国シェア】



出典：経済産業省「工業統計調査」

【香川県産ブロッコリーの全国シェア*】

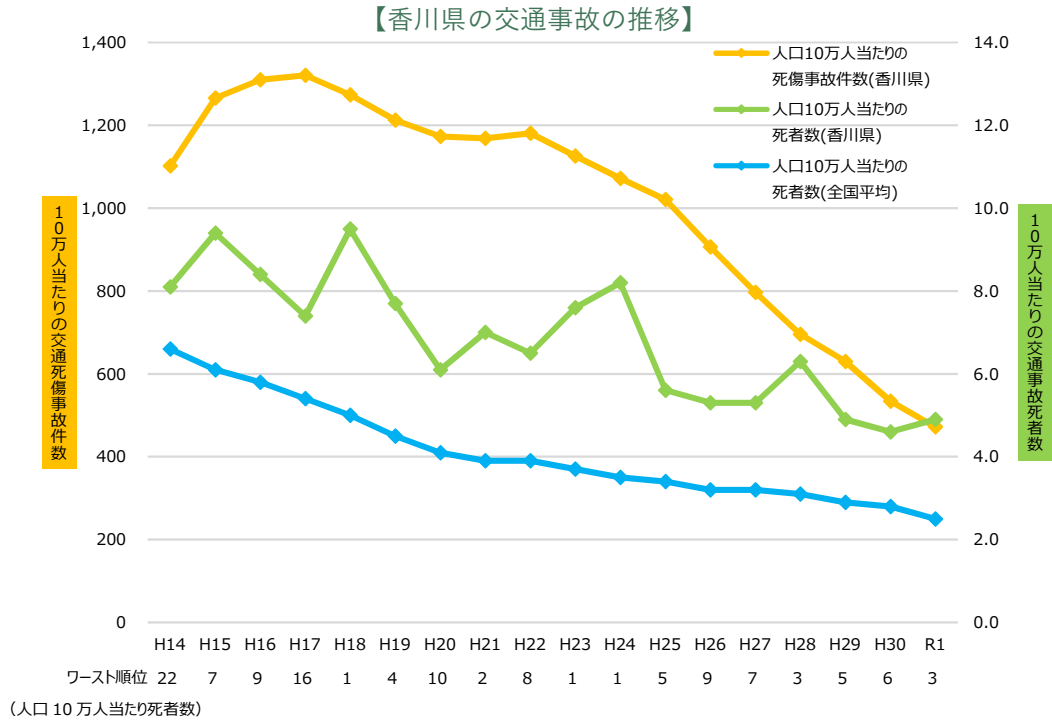


※全国シェアは東京市場におけるもの
 出典：農林水産省「香川農林水産統計年報」

(3) 交通の現状

人口当たり交通事故死者数の多さ

交通事故発生件数は、平成 17 年の 13,449 件をピークに減少傾向にあり、また、交通事故死者数については、平成 29 年にはじめて 50 人を下回りましたが、依然として人口 10 万人当たりの交通事故発生件数や死者数は、全国平均を大きく上回るなど、厳しい状況が続いています。

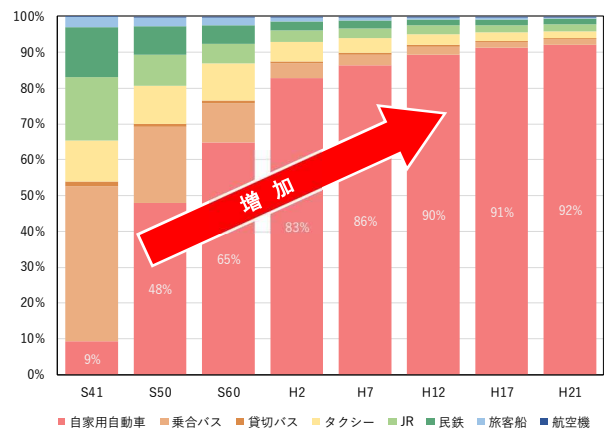


自家用車依存率の高さ

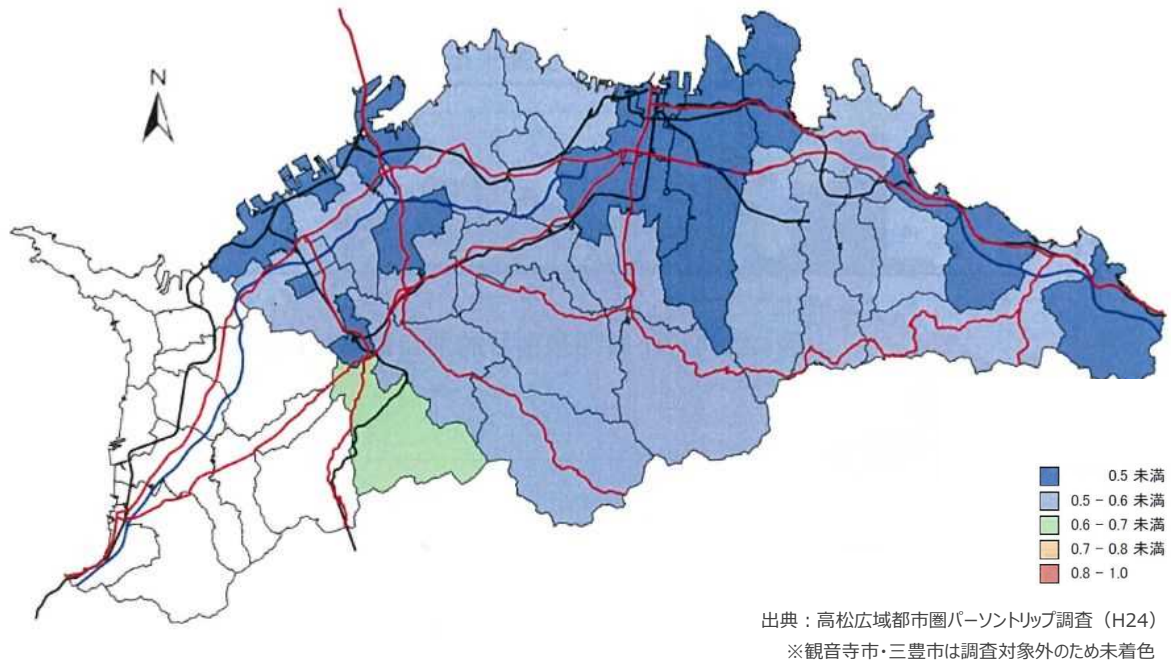
四国地方においては、昭和 41 年の自家用車の利用は、全体の 1 割程度でしたが、その後、モータリゼーションの進行により、平成 21 年には 9 割を超え、自家用車が重要な移動手段となっています。

また香川県でも、都市圏全体で自動車依存が高まっており、特に郊外部においてその傾向が著しく表れています。

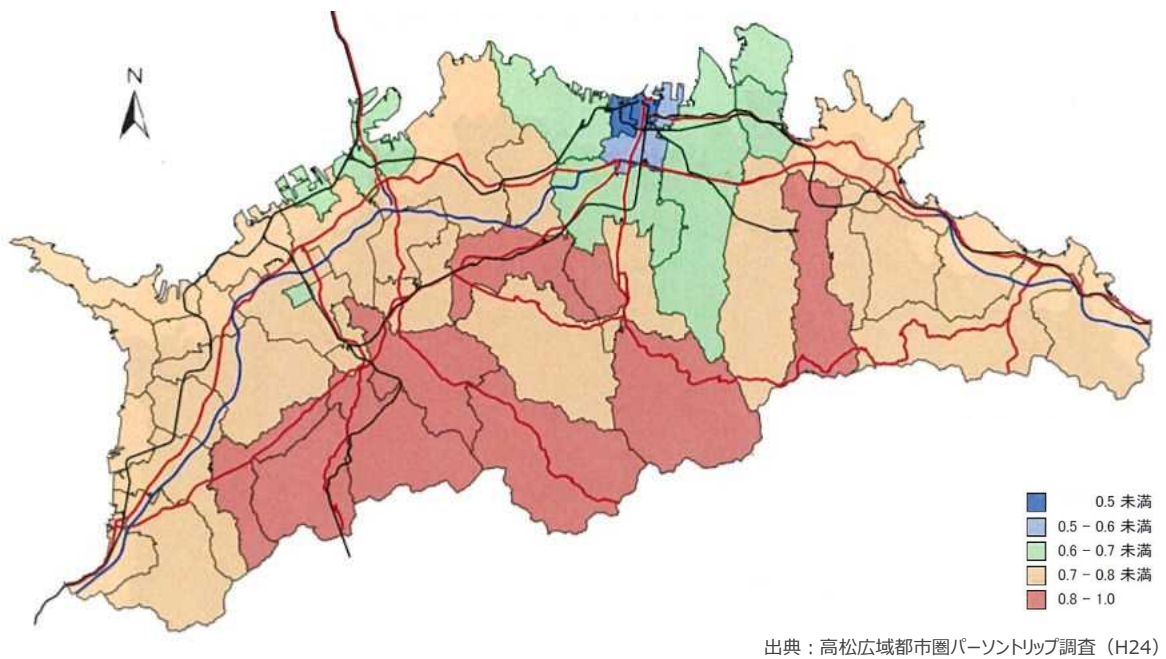
【四国の旅客流動の交通機関割合】



【自動車分担率※（平成元年、全目的）】



【自動車分担率※（平成 24 年、全目的）】



※ 自動車分担率 = 自動車交通のトリップ数 / 全交通手段のトリップ数

高速道路整備・本四架橋に伴う本州・四国間の移動人数の増加

高速道路の整備により、自動車交通の走行台キロは35年間で約2倍に増加しています。また、神戸淡路鳴門自動車道、瀬戸大橋、しまなみ海道が開通し、本州とのアクセス性が向上したことにより、本州・四国間の移動時間が約6~7割短縮し、移動人数が約2倍に増加しています。

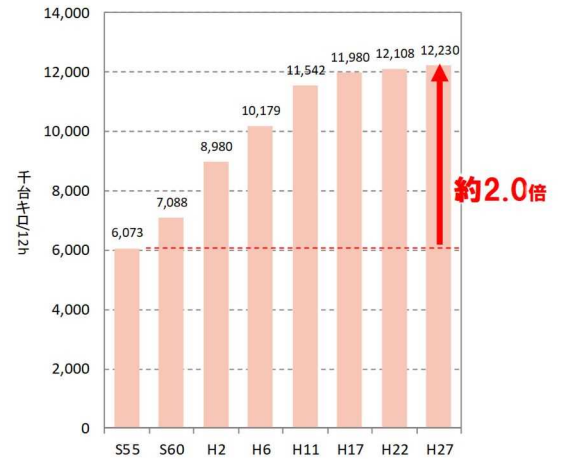
【自動車での移動時間の変化（香川県内）】



※高松市～東かがわ市：香川県庁～東かがわ市役所
高松市～観音寺市：香川県庁～観音寺市役所

※全国道路・街路交通情勢調査 混雑時（ピーク時）旅行速度を用いて算出
ただし、1985年は県道の旅行速度は未調査だったため、1999年及び2015年の対象県道の旅行速度を平均した値を適用。

【自動車走行台キロの変化（香川県内）】



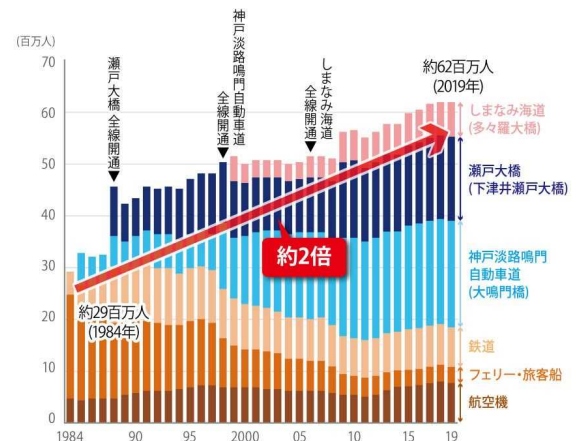
出典：国土交通省「全国道路・街路交通情勢調査」

【自動車での移動時間の変化（本州と四国間）】



出典：本州四国連絡橋高速道路(株)「2019 ディスクロージャー誌」

【交通機関別の移動人数】



出典：四国運輸局提供資料を基に集計

注：瀬戸大橋開通(1988年4月)以前の鉄道の移動人数は、宇高連絡船の利用客、開通後は、JR 瀬戸大橋線の利用客

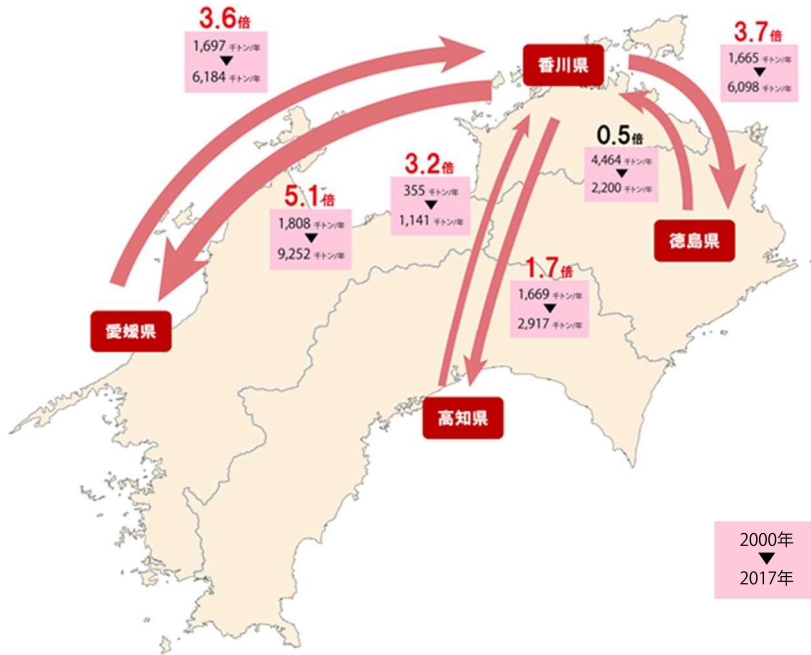
(4) 物流の現状

増加する物流貨物

製造品出荷額の増加に伴い、香川県発着の四国各県との物流量は増加しています。また、高松港の外貿コンテナ取扱量は年々増加し、令和元年には約 40 千 TEU と過去最高を記録しました。

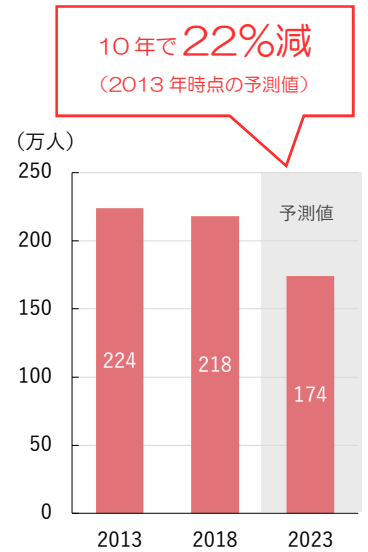
一方で、2013 年以降の 10 年間でドライバーが約 22%減少することが予測されており、物流の効率化及び国際物流への対応が求められています。 ※TEU：20 フィートコンテナ換算個数

【自動車による貨物輸送量の変化】



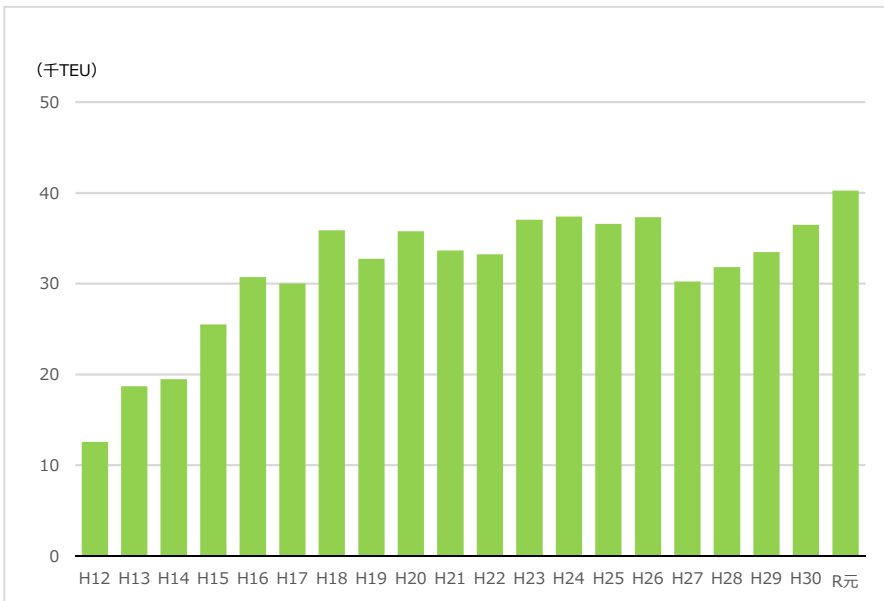
出典：国土交通省「貨物・旅客地域流動調査」(2000年、2017年)
※自動車貨物を対象として集計

【輸送・機械運転従事者の就業
者数 (将来予測) 全国値】



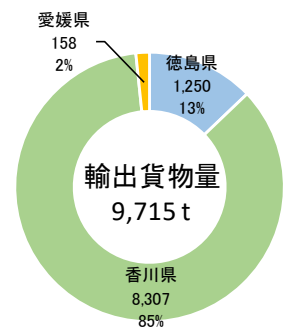
出典：自動車運転者の労働力不足の背景と見通し (国土交通政策研究所報第56号 2015年春季 p95)

【高松港コンテナターミナル外貿コンテナ取扱量 (輸出入計)】

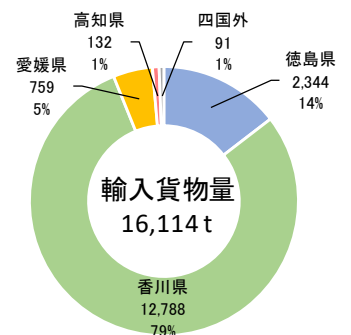


出典：国土交通省「港湾統計」

【高松港における外貿コンテナ輸出品の生産地】



【高松港における外貿コンテナ輸入品の消費地】

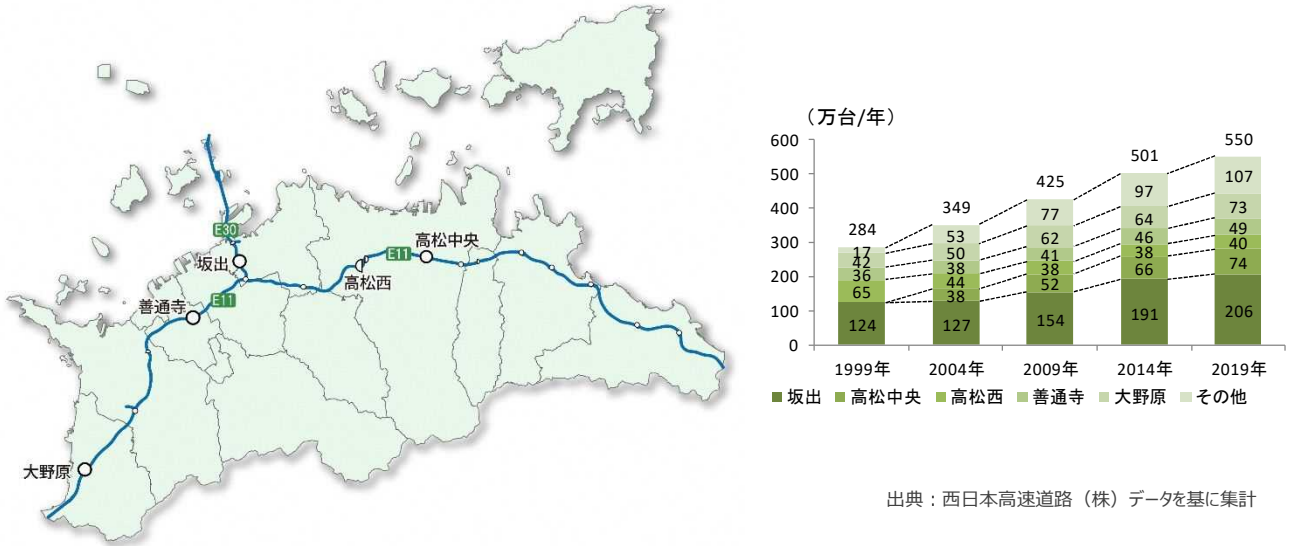


出典：国土交通省「平成30年度全国輸出入コンテナ貨物流動調査」

高速道路を利用する大型車は増加傾向

高速道路を利用するトラック等の大型車交通量は増加傾向であり、物流の基幹として、高速道路の重要性が高まっています。

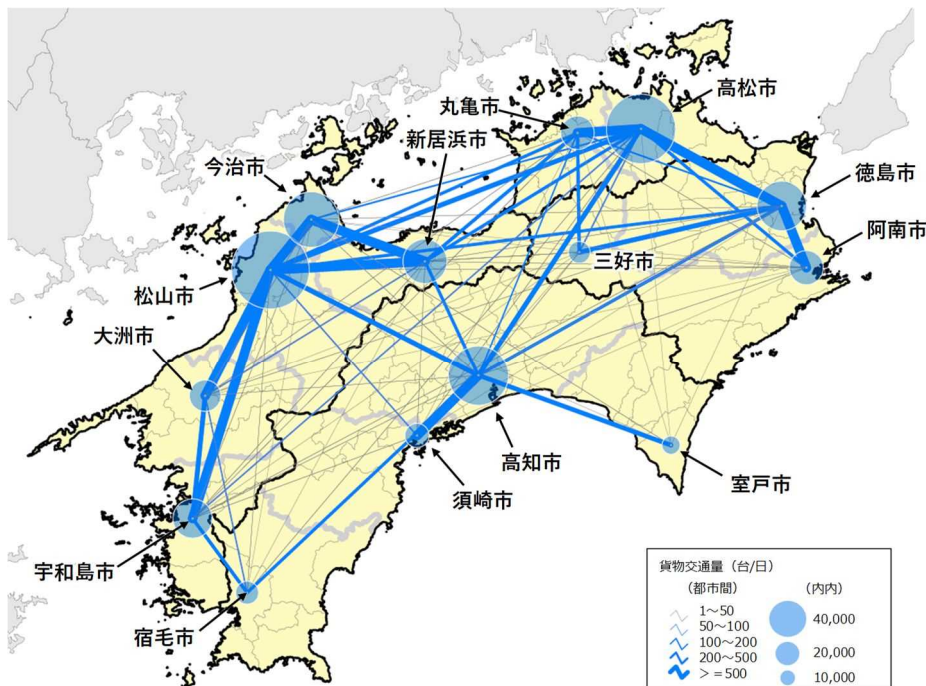
【高速道路のIC 出入り交通量（大型車）】



瀬戸内海側の流動が多い貨物車

高速道路ネットワークが整備されている瀬戸内海沿岸生活圏の中心都市間で貨物車の流動が多くなっており、特に、県庁所在地である高松市や、香川県第二の都市丸亀市と、各県庁所在地との流動が多くなっています。

【四国内の都市間における貨物自動車交通量の状況】



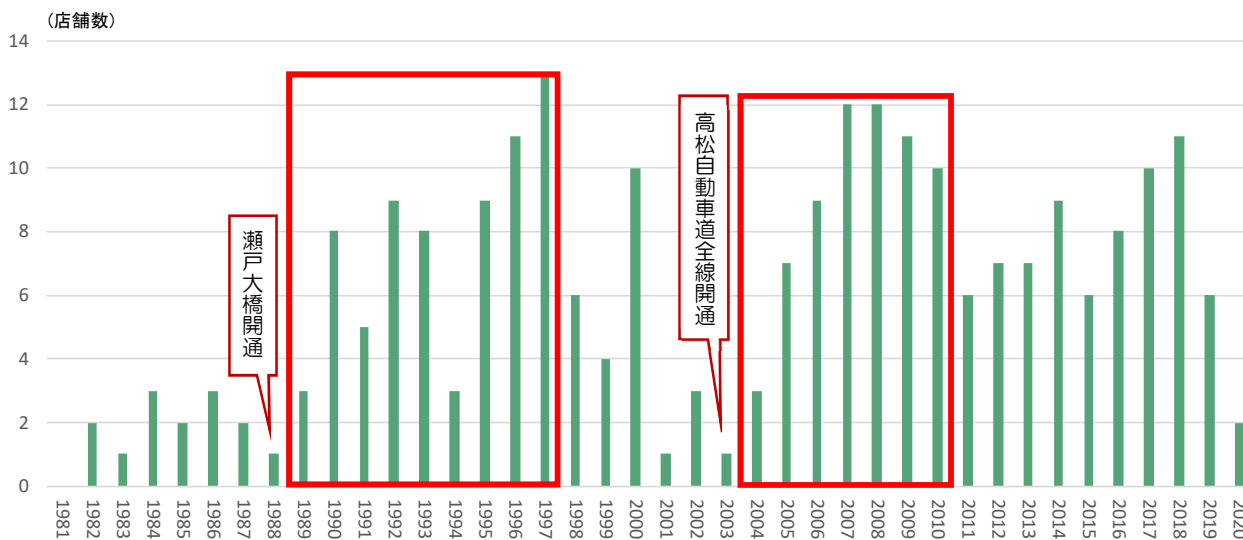
出典：国土交通省「平成 27 年度 全国道路・街路交通情勢調査」

増加する大型小売店

香川県の大型小売店舗（1,000㎡以上）は、2020年現在で272店舗立地しており、増加傾向にあります。都市計画等の変更の他、瀬戸大橋の開通や、高松自動車道の全線開通による物流の効率化、幹線道路の整備による小売店へのアクセス向上が、大型小売店舗増に寄与しています。

一方、商業のほか、業務・居住などの都市機能が市街地の周辺に広がる傾向にあり、市街地への集約は十分と言えない状況です。

【大型小売店の出店推移】



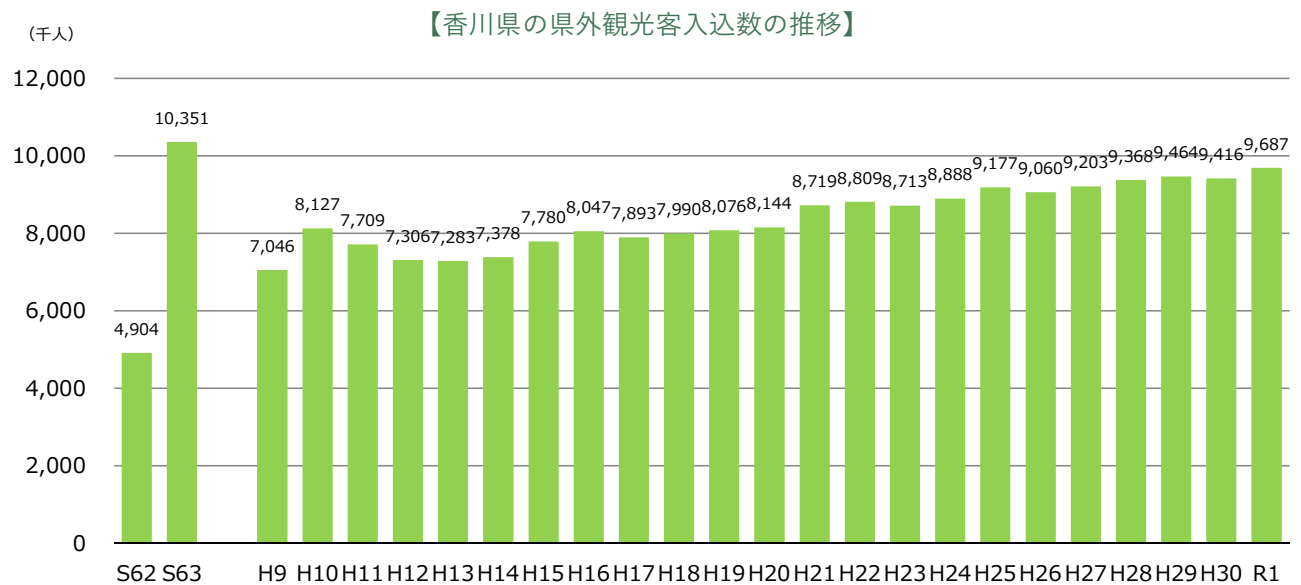
出典：「全国大型小売店総覧 2021」

(5) 観光の現状

観光客は近年増加傾向

本県の県外観光客数は、瀬戸大橋開通ブームの昭和63年の約1,035万人をピークに減少傾向にありましたが、近年においては、高速道路の整備や瀬戸内国際芸術祭の開催により、増加傾向にあり、平成25年には平成になって以降で初めて900万人を超えるなど交流人口の動きが活発になっています。さらに人口減少社会の到来を迎え、全国各地において地域活性化を念頭に、観光振興における地域間競争がますます激化しています。

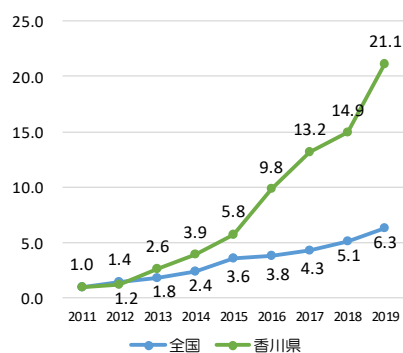
一方で令和2年1月以降、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、観光需要は大きく減少しています。



出典：香川県「令和元年香川県観光客動態調査報告（確定版）」

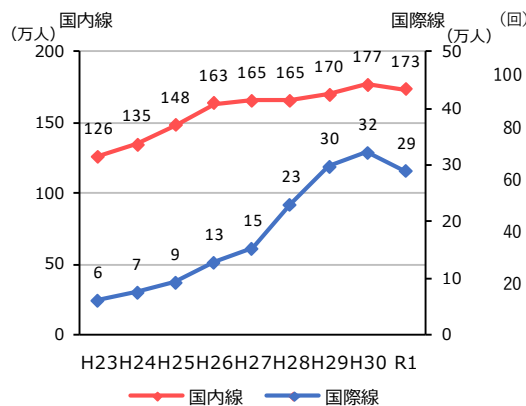
【外国人延べ宿泊者数の推移】

(2011年からの伸び率(全国と香川県の比較))



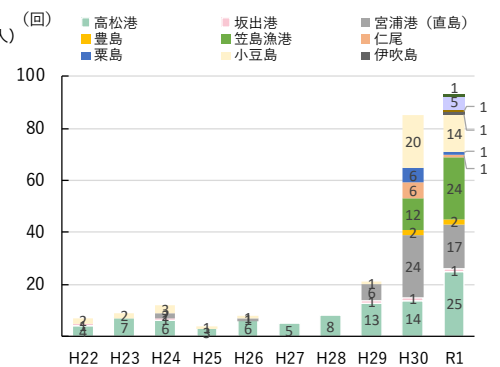
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

【高松空港利用者数の推移】



出典：国土交通省「暦年・年度別空港管理状況調査」

【クルーズ船寄港実績の推移】



出典：国土交通省四国地方整備局「クルーズ船寄港実績調査」

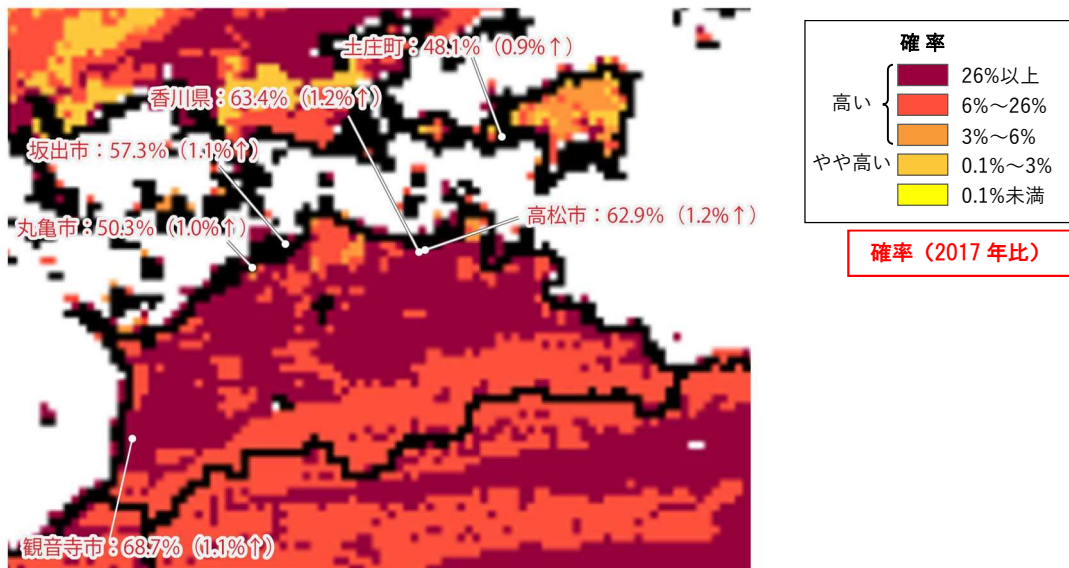
(6) 災害の現状

今後30年以内に高い確率で襲来する南海トラフ地震

文部科学省地震調査委員会から公表された資料では、南海トラフにおけるマグニチュード8～9クラスの地震の発生確率は、今後30年以内に70%～80%と高い値となっており、大きな揺れや津波による被害は甚大なものとなることが予想されます。

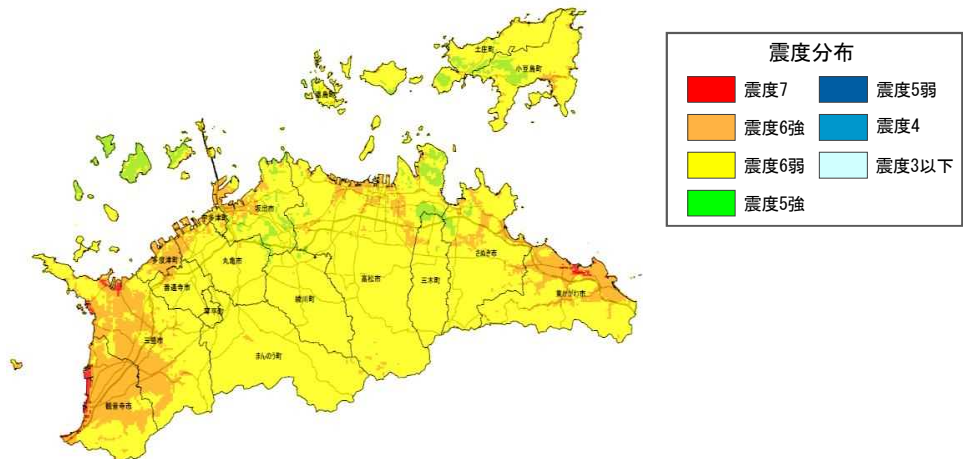
南海トラフの最大クラスの地震が発生した場合には、最大で、死者数が6,200人、建物の全壊・焼失数が35,000棟などと推計されていますが、防災対策の総合的かつ計画的な推進を図る「香川県地域防災計画」や「人的被害をゼロに近づける」ことを目指す「香川県南海トラフ地震・津波対策行動計画」などをもとに、各種対策を行っています。

【地震動の発生確率分布予測図（2018年）】



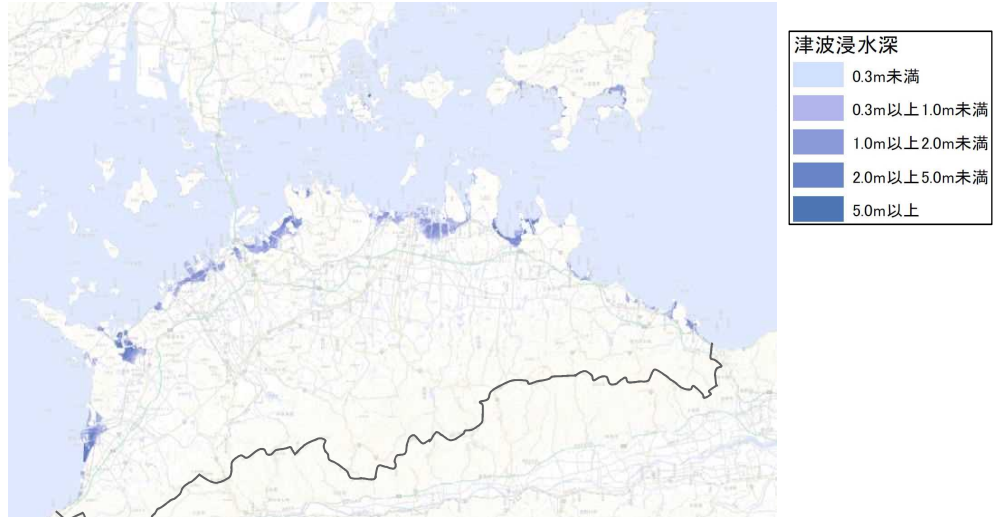
※今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（平均ケース・全地震）
 ※確率が0.1%、3%、6%、26%であることは、それぞれ大まかに、約30,000年、約1,000年、約500年、約100年に1回程度、震度6弱以上の揺れに見舞われることを示します。
 出典：地震調査研究推進本部地震調査委員会「全国地震動予測地図2018年版」

【震度分布予測図】



出典：香川県「香川県地震・津波被害想定（第一次公表）」（2013年3月）
 ※南海トラフ最大クラスの地震を想定
 4ケースの地震を想定し震度分布を重ねた最大の震度

【津波による浸水想定区域図】

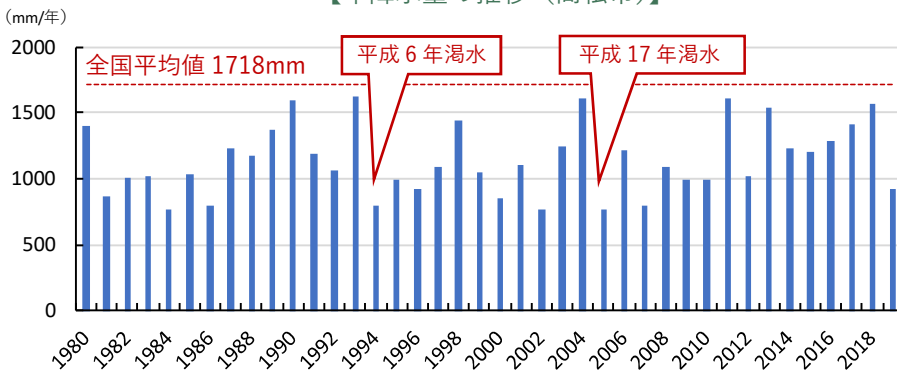


出典：香川県「香川県地震・津波被害想定（第一次公表）」（2013年3月）を元に編集
※南海トラフ最大クラスの地震による津波を想定

渇水と局地化・集中化する豪雨

香川県は全国でも有数の少雨地帯であり、渇水被害が頻発しています。その一方で、集中豪雨の回数も増えてきており、台風常襲地帯でもあることから、今後、土砂災害や高潮災害等の頻発・激甚化が懸念されています。

【年降水量の推移（高松市）】

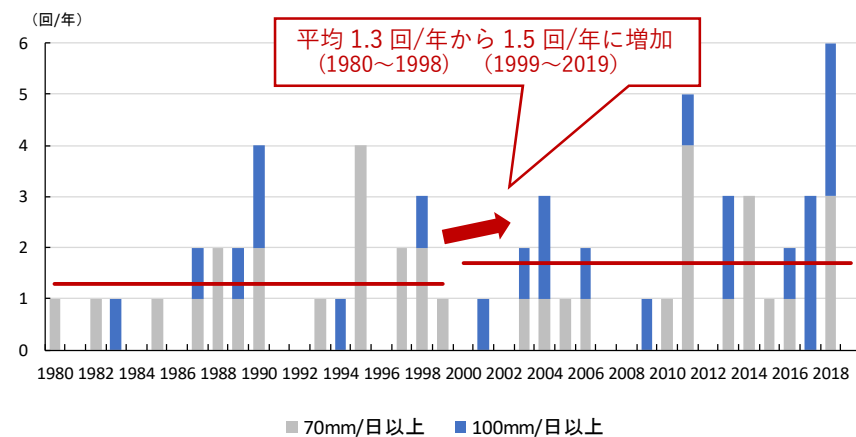


出典：気象庁「過去の気象データ」
※全国平均値は昭和46～平成12年の平均値

■平成30年台風24号による土砂崩壊（坂出市大屋富町）



【集中豪雨回数の推移（高松市）】



出典：気象庁「過去の気象データ」

■平成16年台風16号による高潮被害



2 香川県の将来像

香川県では、平成23年に「せとうち田園都市香川創造プラン」、平成27年に「新・せとうち田園都市創造計画」を策定し、成長する香川、信頼・安心の香川、そして、笑顔で暮らせる香川づくりをめざして、各分野にわたる取組みを推進してきました。

令和2年度に「新・せとうち田園都市創造計画」の計画期間が終了することから、これまでの取組みの方向性を引き継ぎながら、「新・せとうち田園都市創造計画」策定以降の社会経済情勢の変化や県民意識・ニーズ、有識者、県議会をはじめとする県民の意見等を踏まえ、令和3年度からの新たな香川づくりの指針となる次期総合計画の策定を進めており、令和3年2月には計画の骨子案を公表しました。

基本目標

せとうち田園都市の確かな創造

活気あふれる街と美しい自然が隣接し、生涯を通じて安心して生活できる環境の中で、誰もが生きがいを見だし、みずからの能力を存分に発揮できる、また、その魅力に引かれて集い、交わる人々が、みんなで新しい流れをつくり、人口の社会増がもたらされる、瀬戸内（せとうち）香川の生活圈域の確かな創造

基本方針・重点施策

1 安全と安心を築く香川

災害や感染症など、命や健康を脅かす危機が頻発する中で、これらの危機への備えを万全なものとし、子どもからお年寄りまですべての人が、安心して健やかな日々を過ごすことができる香川をつくれます。

1. 災害に強い香川をつくる
2. 「子育て県かがわ」の実現をめざす
3. 健康長寿の香川をつくる
4. 安心な医療・介護体制をつくる
5. 高齢者や障害者が地域で安心して暮らせる社会をつくる
6. 安心につながる社会資本を整える
7. 交通事故・犯罪のない安全安心な香川をつくる

2 新しい流れをつくる香川

新型コロナウイルスによる県内経済への影響から回復に転じさせるとともに、新たな発想を持った人材と新たな技術の積極的な活用により、本県ならではの魅力や強みをさらに磨き上げ、産業、観光、しごと、暮らしのあらゆる面で選ばれる、活力に満ちあふれた香川をつくれます。

8. 定住人口を拡大する
9. 戦略的な産業振興を図る
10. 雇用対策を推進する
11. 交流人口を回復・拡大する
12. 農林水産業の持続的発展を図る
13. 県産品のブランド力の強化・販路拡大を図る
14. デジタル社会を推進する
15. 四国における拠点性を確立する

3 誰もが輝く香川

すべての人が夢と希望を持って、家庭、職場、学校、地域のそれぞれが置かれた環境で、ライフスタイルやライフステージに応じて、その能力を発揮し、お互いを認め合いながら、笑顔でいきいきと暮らせる香川をつくれます。

16. 豊かな人間性と個性あふれる子どもたちを育てる
17. 女性が輝く香川にする
18. 大学と地域の連携を深める
19. 人と自然が共生する香川をつくる
20. 活力あふれる農山漁村をつくる
21. 「アート県かがわ」の魅力を高める
22. スポーツ県をめざす

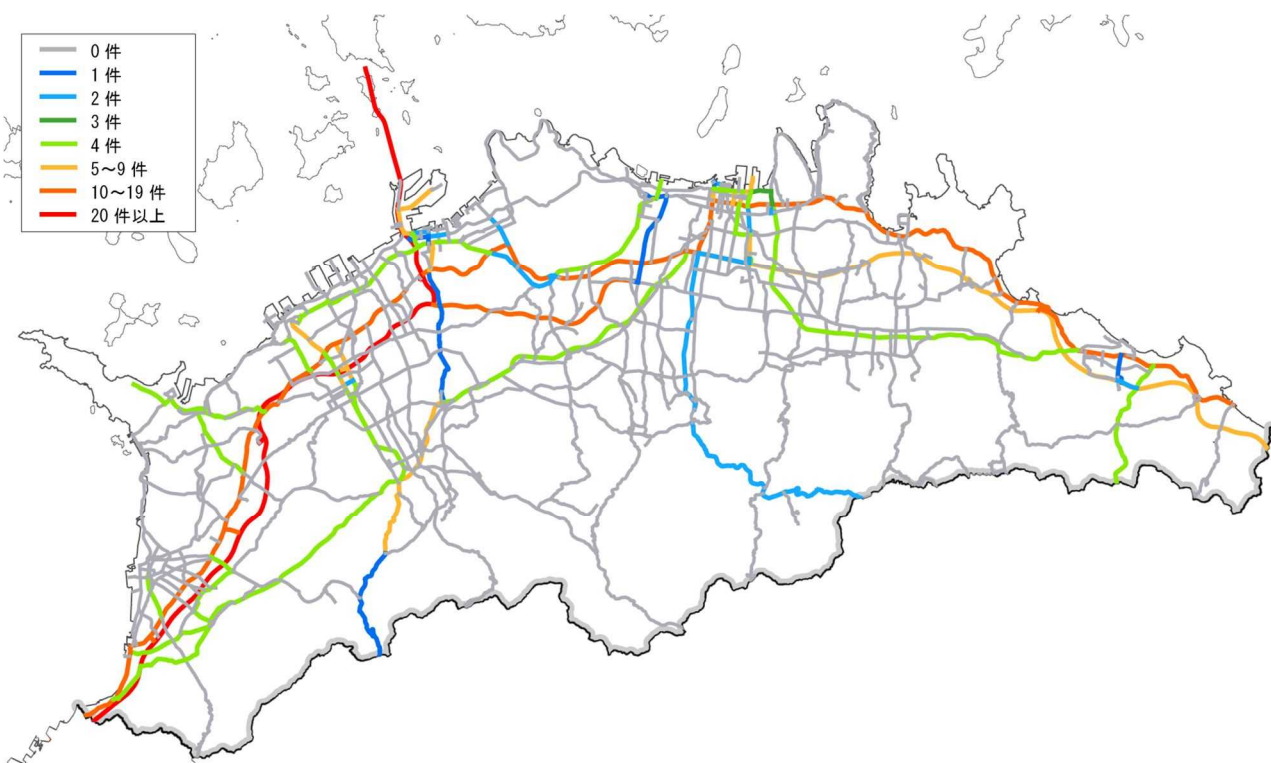
第2章 香川県の広域的な交通課題と既存の取組

1 香川県の交通課題

(1) 効率化を求められる物流

香川県では、将来にわたり本県経済の持続的な発展を図るため、地域の強みを活かした成長産業の育成や企業の競争力強化、産業人材の育成等に取り組んでいます。また、産業の振興には、物流の効率化が欠かせません。現在、世界的に国際海上コンテナ車が増加しており、原則として道路を走行する際には特殊車両通行許可申請が必要ですが、重要物流道路では、一部を除き、特殊車両通行許可申請が不要となっています。

【国際海上コンテナ車の特殊車両通行申請状況（R1年度）】

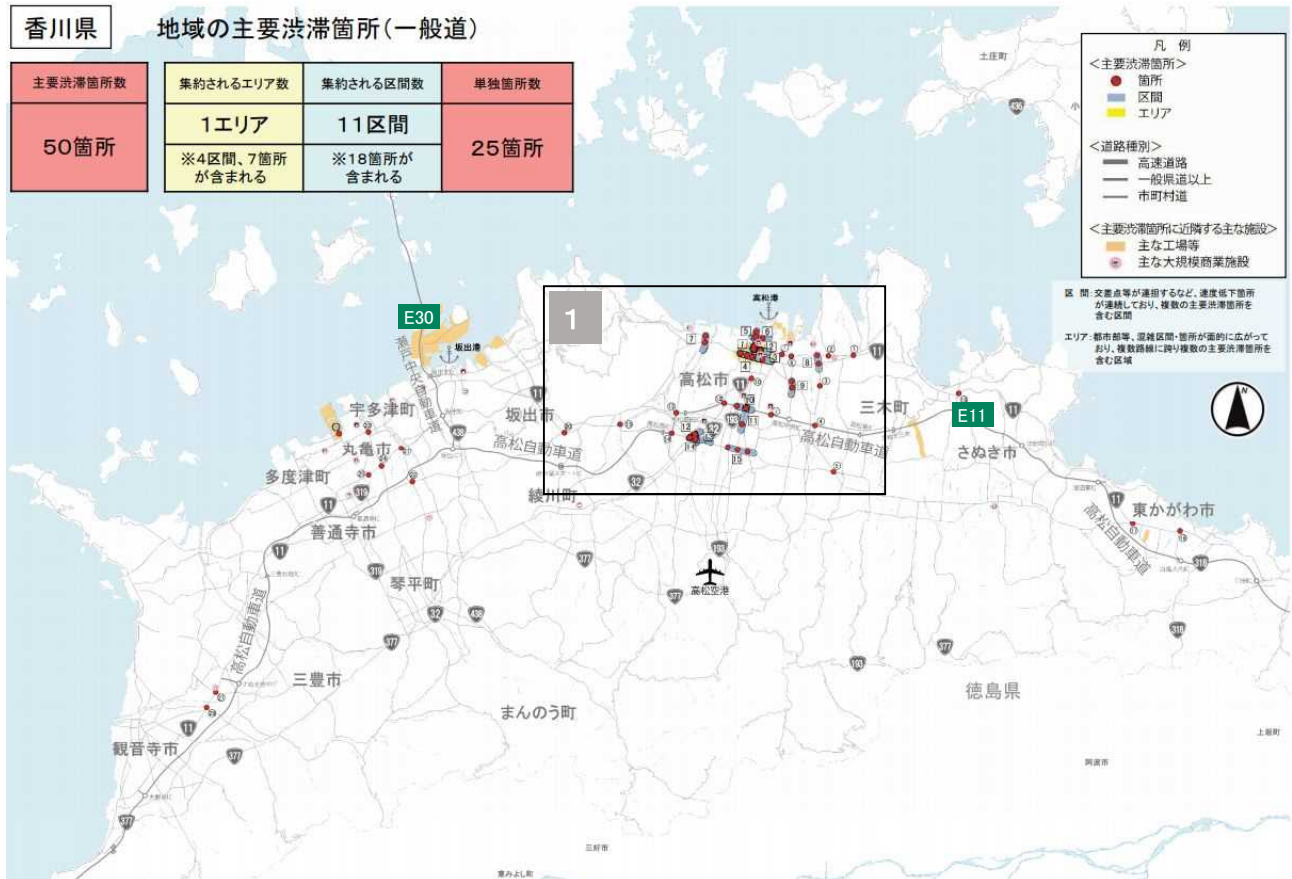


出典：国土交通省資料より作成

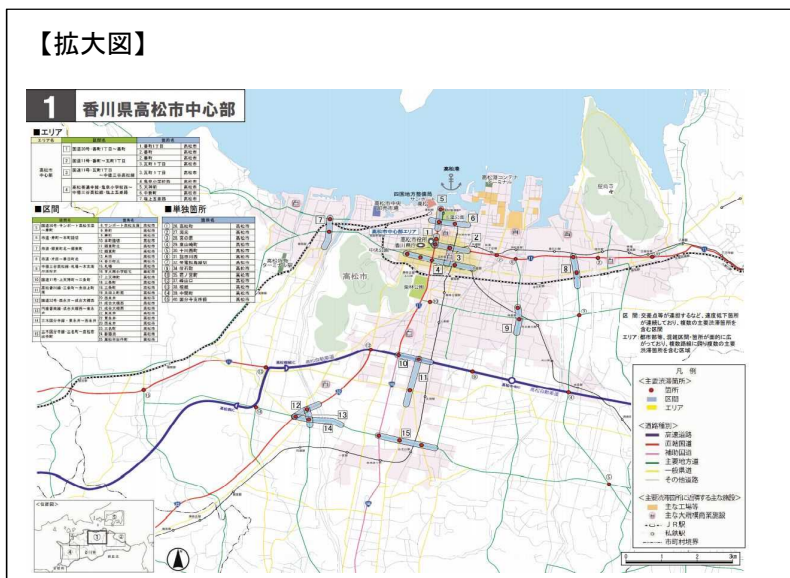
(2) 大都市と変わらない渋滞区間の存在

産業基盤の強化や、観光かがわの推進、地域の活性化につながる交流の推進、地球環境の保全には、円滑な道路交通が必要です。

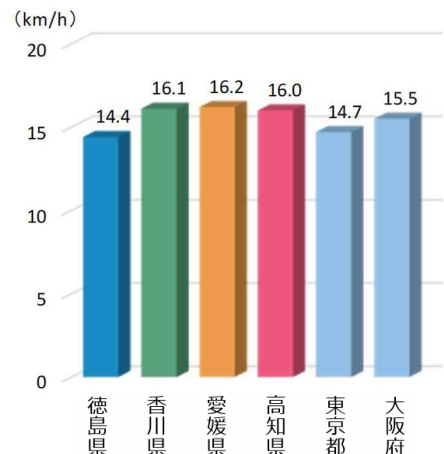
そのため、香川県渋滞対策協議会では、香川県内に 50 箇所の主要渋滞箇所を特定し、対策検討に向けて議論が進められています。その多くが高松市などの都市部の幹線道路に集中しており、人口集中地区の混雑時平均旅行速度は、東京都や大阪府と変わらない速度となっています。円滑な道路交通を確保するための対策が必要です。



出典：香川河川国道事務所「地域の主要渋滞箇所」の箇所図」を元に編集



【人口集中地区（商業地）における混雑時平均旅行速度】



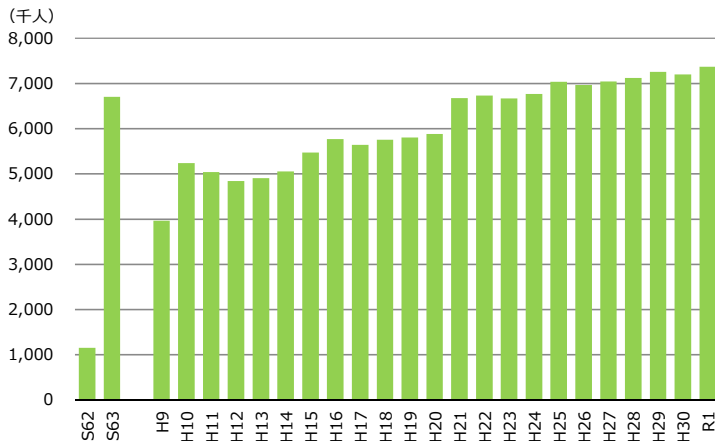
出典：国土交通省「平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査」

(3) 増加する自動車による観光客への対応

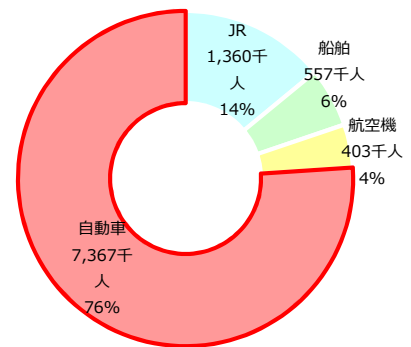
香川県では、瀬戸内海やアート、自然、歴史、文化など本県の豊かな資源の魅力を国内外からの観光客に楽しんでいただき、旅行先として「選ばれる香川」となるとともに、MICE 誘致などにも取り組み、交流人口の拡大を推進しています。

実際に香川県の県外観光客入込数は近年増加傾向にあり、交通機関別では、自動車の利用が約8割と多い状況です。今後とも、交流圏や交流人口の拡大には、広域交通ネットワークの充実・強化が必要です。

【自動車による県外観光客入込数の推移】



【交通機関別県外観光客入込数】



出典：香川県「令和元年香川県観光客動態調査報告（確定版）」

(4) 交通事故への対応

交通死亡事故を抑止するためには、高齢者の被害、交差点、夜間の発生が顕著であるという本県の特徴を踏まえ、総合的な交通事故分析に基づき、高齢者をはじめ各年齢層に対する体系的な交通安全教育や交通事故の起きにくい交通環境の整備等、緻密な交通安全対策を進めることが必要です。

(5) 頻発する災害による交通規制への対応

香川県では、南海トラフ地震や大規模な風水害などの危機の発生に備え、ハードとソフト両面での総合的な対策を計画的に進め、一人ひとりの命を守る地域づくりに努めています。これにより、災害に強いまちづくりを推進し、地域活力の向上を図っています。

一方で、香川県内における豪雨等の異常気象時に通行止めになる事前通行規制区間は、184.6km（39箇所）存在します。また、高松市など沿岸部に位置する市町では高潮などの冠水被害による交通遮断も引き起こされています。

さらに、南海トラフ地震において、現在想定されている津波浸水想定箇所の一部が国道11号等、主要な幹線道路と重なっていることから、災害時の迂回路・代替路の必要性が指摘されています。

■平成16年台風16号による高潮被害（高松市福岡町）



■平成16年大雨による法面崩壊（三豊市財田町）



■事前通行規制の様子（H30.7.6）



【香川県の事前通行規制区間図】



【津波による浸水想定区域】

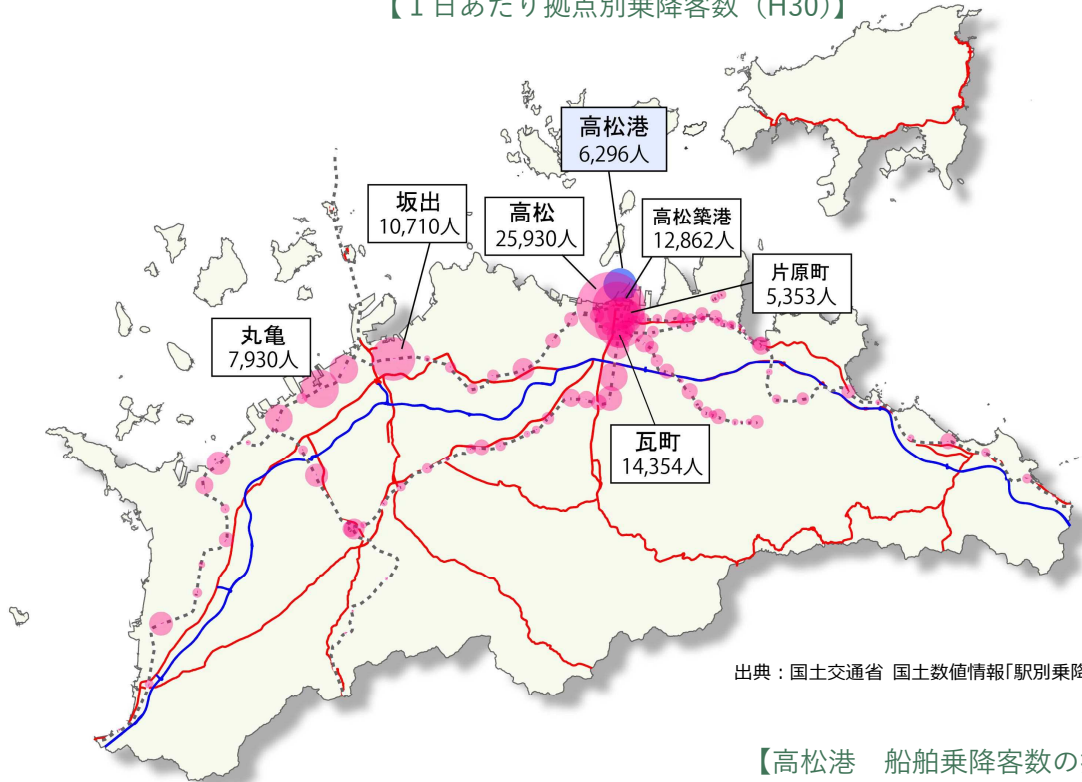


出典：[津波浸水想定箇所]「香川県地震・津波被害想定（第一次公表）（2013年3月31日）」から部分抽出
 ※南海トラフ最大クラスの地震による津波を想定

(6) 重要性の高まる公共交通拠点へのアクセス性

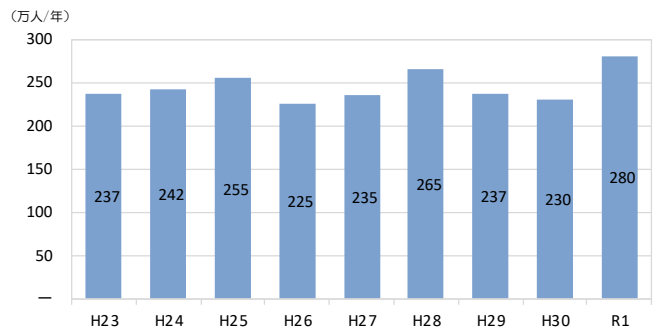
人口減少・少子高齢化への対応や集約型都市構造の実現などの観点から、地域公共交通の重要性はますます高まっており、香川県では、県全体で利便性と結節性に優れた地域公共交通ネットワークの構築に努めています。また、県外観光客の増加や、地球温暖化対策の観点からも、公共交通拠点アクセスのより一層の対応が必要となっています。

【1日あたり拠点別乗降客数（H30）】



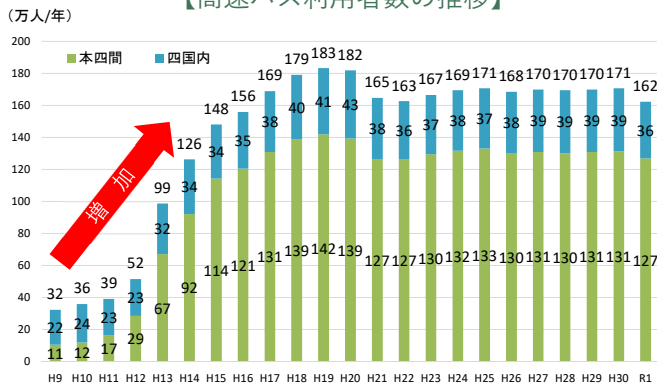
出典：国土交通省 国土数値情報「駅別乗降客数」「港湾統計」

【高松港 船舶乗降客数の推移】



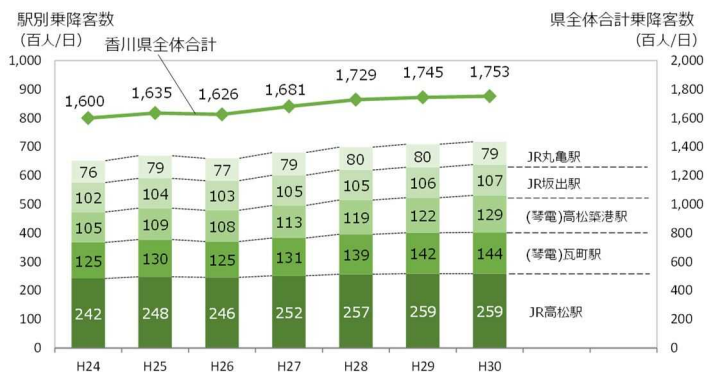
出典：国土交通省「港湾統計」

【高速バス利用者数の推移】



出典：四国運輸局「四国地方における運輸の動き」

【駅別乗降客数の推移】



出典：国土交通省 国土数値情報「駅別乗降客数」

2 香川県における取組

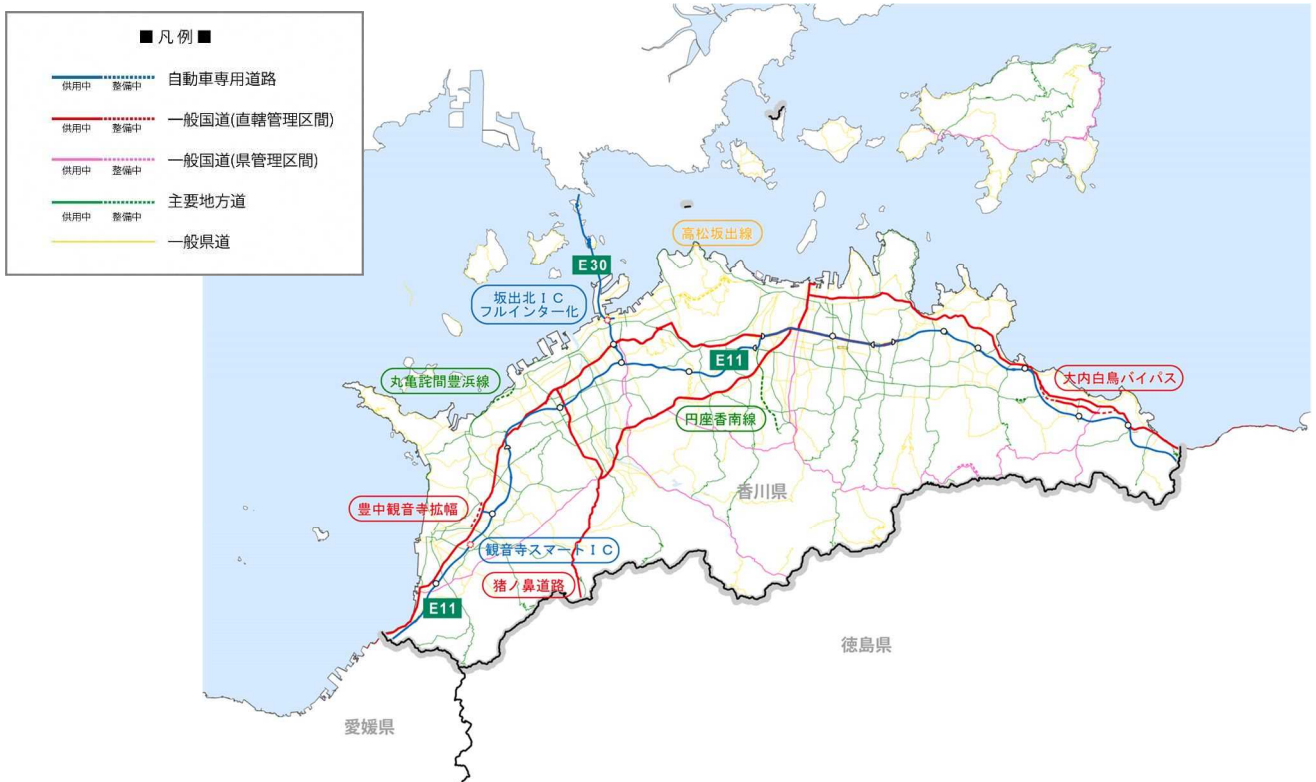
(1) 県土軸ネットワーク計画による道路整備の推進

今後の厳しい財政状況のもと、県土軸ネットワークの構築に向けた道路整備を効率的かつ効果的に行うため、香川県では、平成15年7月に作成し、平成22年12月に「県土軸ネットワーク計画」を改訂しました。当該計画に基づき、諸課題を解決するため、道路整備を行っています。

【「県土軸ネットワーク計画」における道路施策】

1	高速道路の4車線化整備
2	幹線道路の整備
3	交通拠点等へのアクセス道路の整備
4	観光地へのアクセス道路の整備
5	交差点の整備
6	駅へのアクセス道路の整備
7	自歩道・自転車走行空間の整備
8	緊急輸送路の整備
9	異常気象時通行規制区間の縮小
10	道路構造物の長寿命化

【香川県における主な道路事業（令和3年3月時点）】

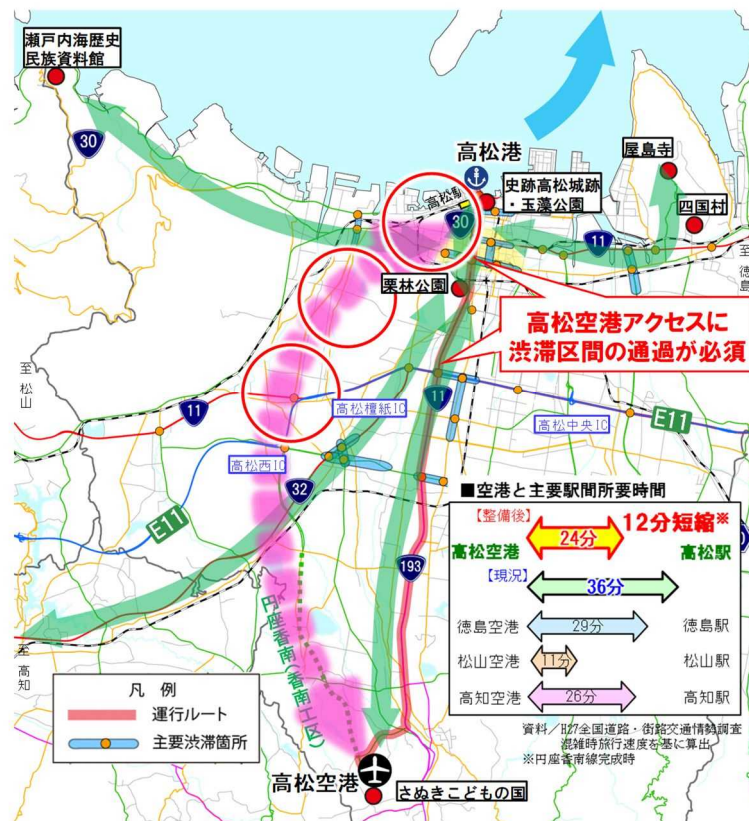


幹線道路の整備

国土交通省は、国道11号（大内白鳥BP、豊中観音寺拡幅）、32号（猪ノ鼻道路：令和2年12月供用済み）といった直轄国道の整備を進めています。

また地域高規格道路高松環状道路のうち、高松市寿町から檀紙町までの区間は、令和2年度から「計画段階評価を進めるための調査」箇所とされました。当該区間の整備により、JR高松駅や高松港などのあるサンポート高松と高松西IC、さらには地域高規格道路高松空港連絡道路を経由し、高松空港が結ばれ、交通結節機能を強化するとともに、国道11号などの高松市中心部における交通渋滞の緩和が図られることが期待されています。

【高松空港直行バスの経路と高松市内の主な観光施設】



坂出北インターチェンジは、本州方面への乗降が可能なハーフインターですが、四国方面へも乗降が可能となるよう、フルインター化事業を進めています。

高松市から中西讃地域の沿岸部を結ぶ「さぬき浜街道」においても、坂出北インターチェンジをはじめ、沿線市町の中心部、高松港などの港湾施設や工業地帯等拠点間の円滑な物流と沿線の交流推進を図るため、県道丸亀詫間豊浜線や県道高松坂出線の整備を進めています。

【坂出北 IC のフルインター化事業位置図】



【白方跨線橋の状況（さぬき浜街道）】



【事例】 高松港朝日地区国際物流ターミナル整備事業
複合一貫輸送ターミナル整備事業

高松港では、コンテナ取扱量の増加や貨物船の大型化へ対応し、ふ頭再編により輸送効率化を図り、あわせて岸壁の耐震強化により大規模地震時の海上からの緊急物資輸送を確保するため、国際物流ターミナルの整備を進めています。

また、令和2年度より、フェリーにおける貨物需要の増大に対応するとともに、緊急物資輸送拠点としての機能強化を目的として、複合一貫輸送ターミナル整備事業にも着手しました。



交通拠点等へのアクセス道路の整備

香川県では、高松空港と高松自動車道の高松西 IC 間の移動時間を短縮し、県内全域からの高松空港へのアクセス性を向上するため、地域高規格道路円座香南線の整備を行っています。

また、高松市では、鉄道駅のアクセス性の強化として、ことடன்三条～太田駅間の新駅・駅前広場の整備を進めています。新駅に加え、主要都市と連絡する高速バス乗り場の整備、路線バスの再編に伴う複数路線の接続が可能なターミナルの整備、キス&ライド駐車場の整備等、多様な交通手段との結節を可能とする駅前広場の整備も進められています。

【整備の進む地域高規格道路の円座香南線】



【ことடன்新駅の事業概要】



出典：高松市 HP

渋滞対策

香川県渋滞対策協議会では、客観的なデータなどを活用して、渋滞が多発している箇所などを抽出し、道路を利用する県民や民間事業者（トラック協会、タクシー協同組合、バス協会）、道路管理者（自治体）から意見を伺ったうえで主要渋滞箇所を特定しました。

特定した主要渋滞箇所については、対策検討に向けて議論を進めています。また、主要渋滞箇所については、最新交通データ及び地域の交通状況を踏まえ、随時見直しを図っています。

【香川県渋滞対策協議会の取組】

あらまし

- ・香川県内における道路の渋滞対策を効率的に進めていくため、「香川県渋滞対策協議会」※（以下「協議会」）において、渋滞箇所の的確な把握方法について検討しました。
- ・このたび、検討結果を踏まえ、道路利用者の皆さまが実感している渋滞箇所等を「主要渋滞箇所」として特定しました。

H24.7 第1回協議会

H24.8 第2回協議会

H24.12 第3回協議会

地域の主要渋滞箇所 特定

これまでの取り組み

- ・道路利用者と協議会の双方の意見を踏まえて、地域全体として実感している渋滞箇所を特定しました。

- ① 協議会の意見
最新のプローブデータなどを有効活用して、客観的かつ効率的に渋滞箇所を抽出しました。
- ② 道路利用者等の意見
パブリックコメントにより、一般の道路利用者のほか、道路管理者（自治体）、事業者（トラック協会、タクシー協同組合）から、幅広く意見を頂きました。

パブリックコメントの案内チラシ



素案の選定（協議会の意見）

- ・客観的データに基づき、渋滞発生箇所を抽出
- ・地域における交通特性を考慮した抽出方法を検討

パブリックコメントの実施（道路利用者等の意見）

- ・道路利用者が実感している渋滞箇所を抽出
- ・最新データや現地状況により渋滞状況を確認

「地域の主要渋滞箇所」の特定

- ・連担・集中する渋滞箇所は、効率的に対策を実施できるよう、区間またはエリアに集約

最新のプローブデータなどを有効活用

- ・道路利用者の移動情報（プローブデータ）などを収集・分析
- ・速度低下等の道路交通状況を客観的かつ効率的に把握



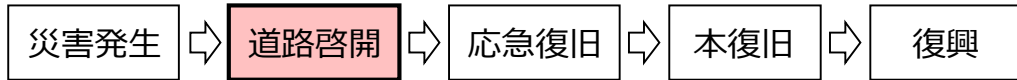
今後の予定

- ・対策検討に向けて、引き続き、「香川県渋滞対策協議会」において、議論を進めます。
- ・今後、主要渋滞箇所については、最新交通データ及び地域の交通状況を踏まえ、随時見直しを図っていきます。

出典：香川河川国道事務所「地域の主要渋滞箇所」について」

(2) 南海トラフ地震等への対応

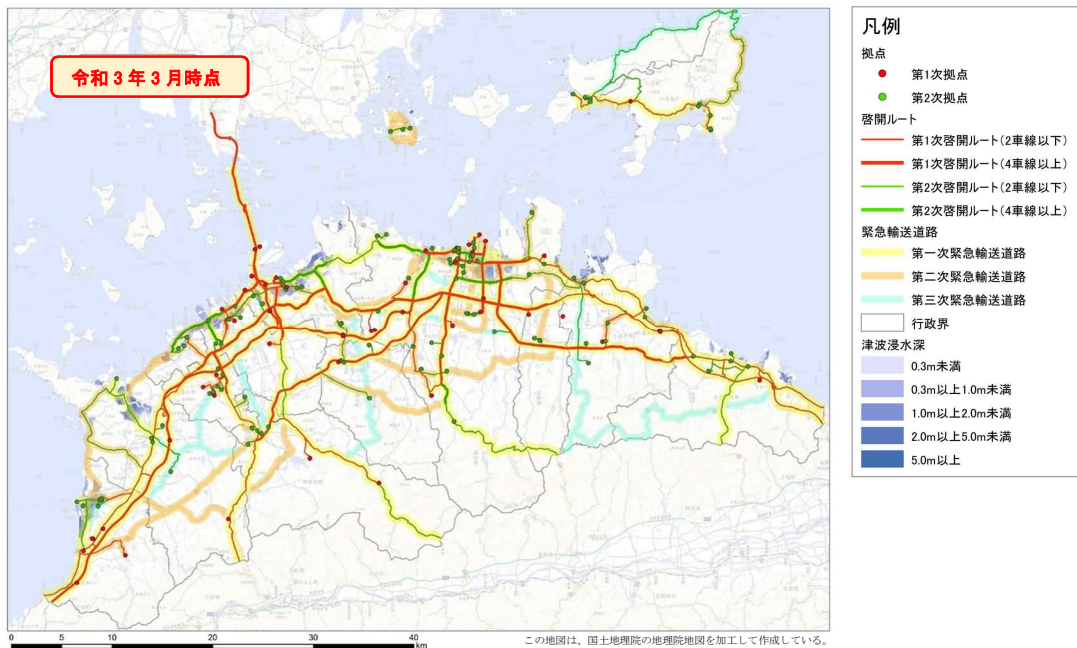
将来、南海トラフ地震等の発生により、強い揺れや沿岸部の津波など、香川県では大きな被害が想定されています。そのため、迅速かつ効果的な道路啓開を行うため、啓開すべき防災拠点、ルート、道路啓開の実施方法、各関係機関の連携等について具体的に定めた道路啓開計画が策定されています。



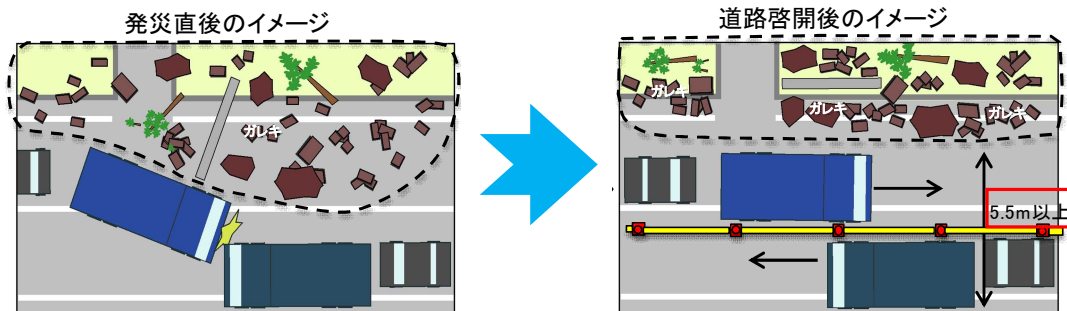
【道路啓開計画 拠点の設定】

拠点	考え方	代表的な拠点
第1次拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・「内閣府の具体計画」に定める拠点 ・「四国広域道路啓開計画」に定める出発拠点 ・災害拠点病院 ・一次（広域）物資拠点支援施設等 	高松空港、サンメッセ香川等 国営讃岐まんのう公園等 県立中央病院、香川労災病院等 民間企業の物流施設等
第2次拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・「香川県緊急輸送道路ネットワーク計画」のうち重要な拠点 ・二次（地域）物資拠点 	警察署、消防署、役所、浄水場等 体育館等市町が指定した施設

【道路啓開計画 啓開ルート】



【道路啓開の対応イメージ】



出典：香川県道路啓開計画の概要

(3) 広域観光の促進

交流人口の拡大による地域経済の活性化の促進と豊かな地域社会の実現には広域観光の推進が必要です。

観光庁では、「広域観光周遊ルート形成促進事業」として、訪日外国人旅行者の地方誘客に資するテーマ・ストーリーを持ったルートの形成を促進するため、具体的なモデルコースを中心に、地域の観光資源を活かした滞在コンテンツの充実、ターゲット市場へのプロモーション等、外国人旅行者の周遊促進の取組を支援しています。平成27年に国土交通大臣が認定した7つの広域観光周遊ルートのうち、香川県では、「せとうち・海の道」、「スピリチュアルな島～四国遍路～」の2ルートが認定されています。また、訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすい道案内の実現に向けて、高速道路のナンバリング標識の設置を行っています。

このように、瀬戸内海やアート、自然、歴史、文化など本県の豊かな資源の魅力を国内外からの観光客に楽しんでいただき、旅行先として「選ばれる香川」となる取組を行っています。

【「せとうち・海の道」の概要】

名称・コンセプト ルート名称： せとうち・海の道 The Inland Sea, SETOUCHI ～新たな西日本発見の旅～ Discover the Hidden Charms of West Japan コンセプト： 世界に誇る「瀬戸内」の景色と「瀬戸内」でのみ味わえる貴重体験「瀬戸内」に溢れる日本の「匠」と「自然美」 ゴールデンルートの延長線上にある日本随一の確固たる幹線ルート 主な対象市場・ターゲット：欧米圏、台湾、タイ等の東南アジア等	目標設定・成果把握 ・目標の設定：2020年までに瀬戸内7県の外国人延泊者数600万人泊（2015年実績の約2.3倍） ・成果把握の方法：観光庁宿泊旅行統計調査ほか 事業の概要 (1) 事業計画策定・マーケティング ・海外向け地図策定、実施管理等（ビッグデータ等も活用） ・成果把握の方法：観光庁宿泊旅行統計調査ほか ・本ルート上におけるシームレスなWi-Fi環境の整備等 (2) 滞在コンテンツの充実 ・着地型商品予約プラットフォーム構築やMaaS商品等の発信等（滞在型小型船M-Z、7-11M-Z、海のななつ星、水上飛行機） (3) 滞在コンテンツの充実 ・着地型商品予約プラットフォーム構築やMaaS商品等の発信等（滞在型小型船M-Z、7-11M-Z、海のななつ星、水上飛行機） (4) 対象市場に向けた情報発信・プロモーション ・航空～福岡の瀬戸内周遊バス等の造成、これを使った周遊の仕方の情報発信、宿泊とのセット商品造成・販売（「西遊紀行」等）
実施主体 ・名称：（一社）せとうち観光推進機構 ・会長：松本 隆之（西日本旅客鉄道株式会社 取締役相談役） ・事務局長：（一社）せとうち観光推進機構（〒730-0011 広島市中区基町10-3 広島県自治会館2F） ・構成員：兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県及び経済団体1団体、民間企業12社	対象地域の地図

【「スピリチュアルな島～四国遍路～」の概要】

名称・コンセプト (主題)スピリチュアルな島～四国遍路～ Spiritual Island～SHIKOKU HENRO～ (副題)1200年の歴史と文化に触れ合う旅 Touch the history and culture for over 1200 years (コンセプト)・四国遍路とお隣りの心文化 ・日本の原風景が残る未知なる観光地 ・1200年の歴史や文化に触れる旅	対象地域の地図
実施主体 名称：四国ツーリズム創造機構 会長：松田 清宏（四国旅客鉄道株式会社 相談役） 事務局長：四国ツーリズム創造機構 専任推進本部 構成員：徳島県、香川県、愛媛県、高知県、岡山県、四国、四国経済連合会、四国電力株、四国旅客鉄道株、全日本空輸株、日本航空株、朝日旅行など	
目標設定・成果把握 目標：2020年までに四国4県外国人延泊者数を125万人泊へ 成果把握：観光庁の宿泊旅行統計調査、ALL SHIKOKU Rail Passの発売状況、主要観光施設の入込数	
事業の概要 広域で取り組む主要な事業 (1) 事業計画策定・マーケティング プラム(画)だけでなく、持続性【質】を重視し、個人旅行者(FIT)を中心にしたプロモーション計画を策定 (2) 滞在環境整備・交通アクセスの円滑化 イーレの設置場所の情報提供など (3) 滞在コンテンツの充実 着地型商品の開発（お寺＋観光地巡り、歩き道路体験など） (4) 対象市場に向けた情報発信・プロモーション 四国に在住する外国人の目線で魅力や観光資源を取材し、SNSを活用して情報発信する（お遍路・お祭りなど）	

出典：観光庁 HP

【高速道路のナンバリング標識】



国道11号 香川県丸亀市

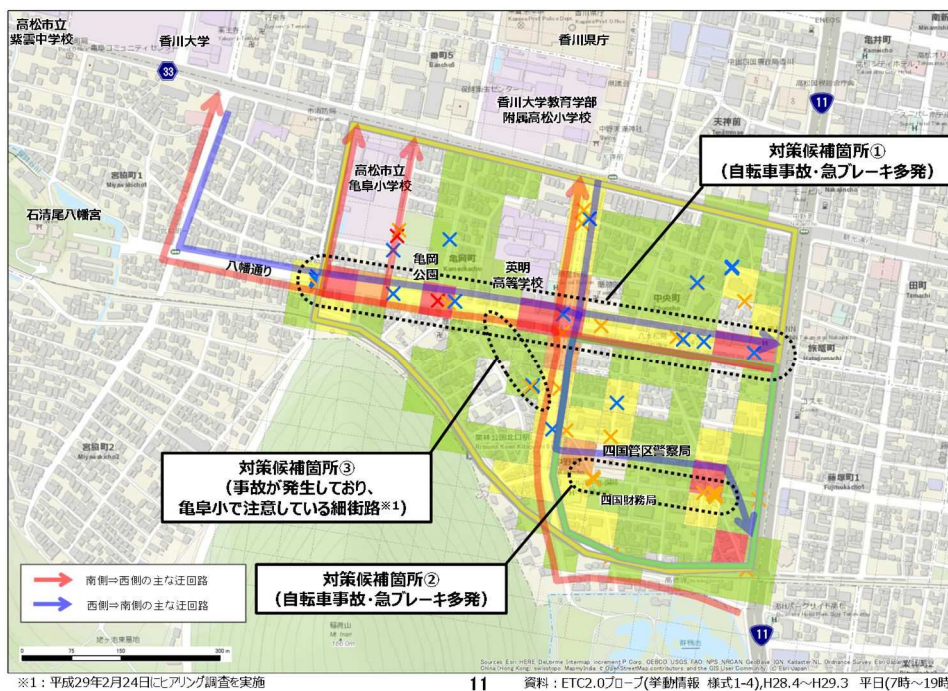


出典：香川河川国道事務所 記者発表資料

(4) ICT 交通マネジメント

高松市中野町の生活道路において、交通事故データや ETC2.0 プロブデータによる急ブレーキ発生箇所・抜け道経路の分析から生活道路対策候補箇所を選定し、ビデオ観測による危険事象の確認や、エリアを校区とする小中学校へのヒアリング調査から事故発生要因を分析し、事故対策案を検討しました。

【高松市中野町地区における生活道路の交通安全の確保に向けた取組】



(5) 防災拠点整備

道の駅「滝宮」は、道の駅区域内に災害ハザードがなく、国道 32 号に接していることや、府中湖スマート IC の近辺に位置していることから、災害時に物資の集配拠点としての役割を担うため、災害時対応トイレなどの防災施設を整備し、広域的な防災拠点を目指しています。

【事例】道の駅「滝宮」の防災拠点化

＜整備内容＞情報提供施設、災害時対応トイレ、給水施設、非常用自家発電施設、防災倉庫

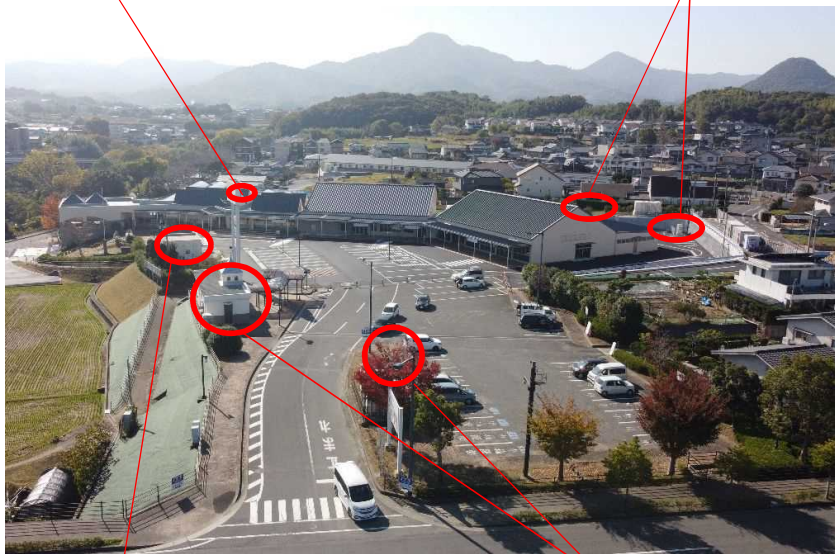
◆防災倉庫

- ・防災資材、マンホールトイレ、緊急トイレ



◆非常用自家発電設備

- ・災害時にトイレ、情報、照明施設に電気を供給する。



◆情報提供施設

- ・大型モニター及びインターネットにより、災害時に道路情報・災害情報を提供する。



◆災害時対応トイレ

- ・耐震トイレ及び給水施設



第3章 香川県の広域的な道路交通の基本方針

今後の香川県における広域的な道路交通の基本方針は、「香川県次期総合計画」で示す香川県全体の将来目指す姿を踏まえ、また、交通の課題を解決するため、香川の道づくりの考え方の基本となる「県土軸ネットワーク計画」の施策を踏まえ、広域的な道路交通の基本方針として国土交通省から示されている、①「広域道路ネットワーク」②「交通・防災拠点」③「ICT交通マネジメント」の観点でとりまとめました。

1 安全と安心を築く香川

香川県次期総合計画 基本方針1【安全と安心を築く香川】

重点施策	取組みの方向
1. 災害に強い香川をつくる	南海トラフ地震・津波対策の推進 危機管理体制の強化
6. 安心につながる社会資本を整える	幹線道路等の整備
7. 交通事故・犯罪のない安全安心な香川をつくる	交通死亡事故の抑止



交通の課題

- ◇ 交通事故への対応
- ◇ 頻発する災害による交通規制への対応



広域的な道路交通の基本方針

- ① 広域道路ネットワーク
 - ◇ 緊急輸送道路の整備
 - ◇ 異常気象時事前通行規制区間の縮小
 - ◇ 災害に備えたりダンダンシーの確保・国土強靱化
- ② 交通・防災拠点
 - ◇ 主要鉄道駅等の交通拠点のモーダルコネクトの強化
 - ◇ 防災機能を有した道の駅の整備推進
- ③ ICT交通マネジメント
 - ◇ 交通安全対策の検討
 - ◇ 自動運転の検討

① 広域ネットワークの基本方針

頻発・激甚化する集中豪雨や南海トラフ地震などの近い将来に起こり得る大規模災害時のみならず、ローカルな災害の発生時にも包摂的に人やモノの輸送を安定的に確保することから、災害に強い道路ネットワークの強化を図る国土強靱化の取組みを進めていく必要があります。

リダンダンシーを考慮した道路ネットワークを考える上では、道路ネットワークの形状を踏まえ、災害時に到達不可能となる地域や拠点をなくすことが必要であるとともに、一部の道路ネットワーク通行止め時に迂回により連絡可能であっても、連絡時間が大きく遅れないような道路ネットワークを確保していく必要があります。

そのため、高速道路や直轄国道など基幹となる道路と防災上重要な拠点間を結ぶ路線や緊急輸送道路における橋梁の耐震化や道路防災事業、電線類の地中化、道路占用制限区域の指定を推進します。また、これら路線の多重性・代替性の確保、基幹道路の脆弱箇所における代替路の確保を図ります。

② 交通・防災拠点の基本方針

地域における中心的な役割を担う主要な鉄道駅等の交通拠点について、利用者の利便性向上や周辺道路の交通課題の解消を図るため、必要に応じて、官民連携によるモーダルコネクトの強化を図ります。

また平成 30 年 7 月豪雨において、道の駅が防災拠点として活躍し、その重要性が確認されました。今後も必要に応じて、防災拠点機能を有した道の駅の整備推進を図っていきます。

③ ICT交通マネジメントの基本方針

交通事故の削減を目指し、ビッグデータを活用して事故対策や交通安全対策を検討していきます。

また、高齢化が進行している状況から、高齢者を含めた交通弱者が安心・安全に移動できる社会の実現を図るため、自動運転技術の実用化に向けた取組みを検討していきます。

2 新しい流れをつくる香川

香川県次期総合計画 基本方針2 【新しい流れをつくる香川】	
重点施策	取組みの方向
1 1. 交流人口を回復・拡大する	観光客受入環境の整備
1 5. 四国における拠点性を確立する	民営化を活かした高松空港の利便性向上
	重要港湾の整備
	幹線道路等の整備

交通の課題
◇ 効率化を求められる物流
◇ 大都市と変わらない渋滞区間の存在
◇ 増加する自動車による観光客への対応

広域的な道路交通の基本方針
① 広域道路ネットワーク
◇ 広域ネットワークの充実・強化
◇ 幹線道路の整備
◇ 中枢中核都市等の経済・生活圏の相互アクセス強化
◇ ブロック都市圏内の拠点間連絡・環状連絡の強化
◇ 空港・港湾等の交通拠点へのアクセス強化
◇ 観光地へのアクセス路の整備
◇ 交通結節点や物流拠点施設へのアクセス強化
③ ICT 交通マネジメント
◇ ICT を活用した物流システムの支援

① 広域ネットワークの基本方針

高松空港は、本県の産業や観光、拠点性の確保において、また、広域利用圏に見合った交通結節点として重要な役割を担っています。また、鉄道は、高速道路と並ぶ重要な社会基盤であり、交流圏や交流人口の拡大による地域活性化に欠かせません。加えて、海上物流の拠点である高松港朝日地区においては、港湾機能の強化や緊急物資輸送拠点機能の強化が推進されています。このような背景から、地域生活や産業活動に必要な物資や、農林水産業・工業をはじめとした各種生産品の安定かつ低廉な輸送を確保するため、高速道路と空港・港湾を結ぶ幹線道路や、都市部と地方部、産業拠点と交通結節点を結ぶ幹線道路等の整備を推進します。

また、市街地周辺の交通混雑を軽減し、陸上輸送での定時制や交通円滑化を確保するため、都市内環状道路やバイパス等のネットワーク整備や現道拡幅を推進し、輸送時間の短縮や生産性の向上を図ります。

さらに、人やモノの流れが経済をまわし、その流れの速達性を確保することでより経済効率性が上がります。特に主要な都市間の速達性を確保することは重要であり、交通インフラとしての道路の果たす役割は大きいと言えます。そのため、中枢中核都市、連携中枢都市圏、定住自立圏等のブロック都市圏同士を道路ネットワークで連絡することにより、ブロック都市圏同士の交流・連携を促進する必要があります。

③ ICT交通マネジメントの基本方針

ICT交通マネジメントの観点から、クラウド、センサー、ビッグデータなどICTの活用を促進することなどにより、圏域内外と企業間連携を促し、地域の特性を活かした企業立地環境の整備を行っていきます。また、ETC2.0を活用した物流システムの検討等や自動運転による新たな物流手段の検討を行っていきます。

3 誰もが輝く香川

香川県次期総合計画 基本方針3 【誰もが輝く香川】

重点施策	取組みの方向
19. 人と自然が共生する香川をつくる	地球温暖化対策の推進



交通の課題

◇ 重要性の高まる公共交通拠点へのアクセス性



広域的な道路交通の基本方針

① 広域道路ネットワーク

◇ モーダルコネクタ拠点へのアクセス強化

① 広域ネットワークの基本方針

地球温暖化対策の推進の他、人口減少・少子高齢化への対応や集約型都市構造の実現などの観点から、地域公共交通の重要性はますます高まっており、モーダルコネクタ拠点へのアクセス強化を通して、県全体で利便性と結節性に優れた地域公共交通ネットワークの構築を支援します。